

平成 24 年度 事業報告

(平成 24 年 4 月 1 日～平成 25 年 3 月 31 日)

I. 平成 24 年度総括

平成 24 年度の日本経済は、本格的な景気回復が期待されていたものの、夏以降は世界経済の減速等を背景に景気は弱い動きとなった。しかしながら、平成 25 年に入ると、新しい政治体制の発足と「アベノミクス」によって、円高が是正されるとともに株価が上昇し、補正予算の編成、復興需要の継続や米国や中国などの海外経済の持ち直しの動きもあり、ようやく景気回復の兆しが見え始めた。

こうした経済情勢を反映して、CSAJ の会員数は、24 年度期首の 403 社から期末には 396 社と 7 社減少し、平成 24 年度の会費収入は前年度比 2.0%減の 89 百万円となった。

一方、IT の世界では、大きな潮流の変化が起きている。具体的には、クラウドコンピューティングの本格的な普及、アプリケーション環境のパソコン/スマートフォン/タブレット等のマルチデバイス化、農業、エネルギー、医療などの分野における IT の高度利用 (IT 融合) の進展などである。

こうした中、コンピュータソフトウェア協会は、平成 24 年 4 月より一般社団法人として再スタートするとともに、平成 24 年度事業計画で掲げた「パッケージソフトウェア品質認証制度(略称「PSQ 認証制度」)の立ち上げ」、「中国ソフトウェア産業協会 (CSIA) との協力関係の強化」、「ソフトウェア技術に関する研究活動の強化」の重点活動を中心に委員会、研究会、セミナー、勉強会等の開催、各種情報提供、関係省庁・団体との協力活動、認定試験事業、プライバシーマーク審査事業など幅広い活動を行った。

以下は、24 年度活動のトピックである。

- ◇ 第 1 回 CCSF (共通キャリア・スキルフレームワーク) 活用ワークショップを企画・開催
- ◇ 台湾政府および中華民国情報サービス産業協会 (CISA) と覚書を締結
- ◇ 第 2 回 日・中 企業情報化ソフトウェアサミットを日本で開催
- ◇ 地域交流を目的にソフトウェア技術者のための『Ruby を学ぶ』島根訪問ツアーを実施
- ◇ 第 3 回「SaaS/クラウドコンピューティング事業の取組に関する調査」報告書を公開
- ◇ 「モバイルアプリケーション開発技術最新動向」報告を会員限定で公開
- ◇ パッケージソフトウェア品質認証制度立ち上げのため、必要な規程類の案を作成するとともに、昨年 6 月に公開した申請者ガイドブック β 版の改定作業等を含めた事業化の推進
- ◇ IPA/SEC からの受託事業として「パッケージソフトウェア品質認証制度のフィージビリティ評価及び監査制度導入によるコスト評価」を実施するとともに、IPA/SEC が行った PSQ 認証制度の審査基準策定と模擬認証実験に協力
- ◇ クラウドビジネス研究会を立ち上げ、「クラウドコンピューティング (クラウドサービス) のビジネスへの導入/提供におけるスキルギャップ調査」を実施
- ◇ アライアンスビジネス交流会を 8 回開催 (延べ参加企業 296 社、延べ聴講者 393 名)
- ◇ ソフトウェア企業特有の経営管理等の肝を 1 日で学べる集中講座として、「ソフトウェア企業経営のツボ講座」を企画・実施
- ◇ 一般社団法人日本コンピュータシステム販売店協会 (JCSSA) と共同で設立した「情報システム取引者育成協議会」の活動として「情報システム取引者育成プログラム」を運営し、平成 24 年度は、基礎講座延べ 171 名と研修講座 65 名の研修を実施した (受講者の平成 22 年度からの累計は 2,094 名)
- ◇ 「経営者サマーセミナー in 北海道 札幌/小樽」を北海道札幌市・小樽市で開催 (34 社/38 名が参加、現地企業の参加は 25 社/31 名)
- ◇ CAD 利用技術者試験 1 級の試験応募者数は 1,847 名で前年度比 88.0%、同 2 級の試験応募者数は 6,994 名で前年度比 83.6%、3 次元 CAD 利用技術者試験は、1 級が 772 名 (前年度比 82.6%)、準 1 級が 765 名 (同 86.9%)、2 級が 2,316 名 (同 87.7%)
- ◇ 会計ソフト実務能力試験の応募者数は、1 級 502 名で前年度比 99.4%、2 級 634 名で前年度比 62.5%
- ◇ プライバシーマーク審査事業は、更新 51 社、新規 6 社の合計 57 社の審査を実施。目標達成率は 95.0%
- ◇ 会員データベース刷新による会員企業 1 社におけるメール配信登録数制限の撤廃。

II. 協会の会務

1. 定時総会

平成 24 年 6 月 13 日（水）、ホテルオークラにおいて、会長が議長となり、正会員総数 337 社のうち 225 社の出席（委任状出席含む）をもって開催されました。議事の内容は次の通りです。

【決議事項】

- 第 1 号議案 平成 23 年度事業報告及び決算報告承認の件
- 第 2 号議案 一般社団法人移行に伴う各種規程等の変更について
- 第 3 号議案 役員報酬の総額について
- 第 4 号議案 平成 24 年度・25 年度理事（38 名）および監事（2 名）の選任について

【報告事項】

- 第 1 号議案 平成 24 年度事業計画書および収支予算書について
- 第 2 号議案 一般社団法人移行登記終了報告

※総会議事録は、以下の Web からご参照いただけます。

http://www.csaj.jp/member/rijikai/12/h24_soukai_gijiroku.pdf

2. 理事会

平成 24 年度は、以下の通り 5 回の理事会（臨時含む）、1 回の持回理事会（書面審議）を開催しました。

○5 月理事会（於：トスラブ山王） 会期：平成 24 年 5 月 9 日（水） 出席理事：26 名

- 審議事項 1 平成 23 年度事業報告（案）について
- 2 平成 23 年度決算報告（案）について
- 3 平成 24 年度・25 年度 理事および監事の専任および役付理事の互選について
- 4 平成 24 年度（第 27 回）定時総会の開催について
- 5 新入会員承認の件

報告事項 1 一般社団法人移行登記完了報告

- 2 会員の入退会状況について
- 3 IPA-SEC 公募案件[「ソフトウェア品質監査制度（仮称）構築に向けての参考データ収集のための模擬実験」に関わる請負先（参加者）の公募]採択について
- 4 後援名義等使用申請について
- 5 その他

○6 月臨時理事会（於：ホテルオークラ） 会期：平成 24 年 6 月 13 日（水） 出席理事：34 名

- 審議事項 1 平成 24 年度・25 年度役付理事の互選について
- 2 新入会員承認の件

○9 月理事会（於：トスラブ山王） 会期：平成 24 年 9 月 12 日（水） 出席理事：28 名

- 審議事項 1 新入会員承認の件
- 2 CSAJ 役員が代表となっている企業・団体と CSAJ との取引等について
- 3 事務局移転に伴う費用等に関して
- 4 諸謝金等の規程（案）について

報告事項 1 新会員 DB について

- 2 各委員会からの活動経過報告
- 3 その他

○11 月理事会（於：トスラブ山王） 会期：平成 24 年 11 月 14 日（水） 出席理事：25 名

- 審議事項 1 新入会員承認の件
- 2 意匠画像デザインに関する特許庁への意見提出の件

報告事項 1 平成 24 年度上期収支報告

- 2 委員会・研究会の平成 24 年度活動経過について
- 3 平成 25 年度年間スケジュール（案）について
- 4 その他

○1 月持回理事会（書面審議） 会期：平成 25 年 1 月 23 日（水） 出席理事：37 名

- 審議事項 1 新入会員承認の件

○3 月理事会（於：トスラブ山王） 会期：平成 25 年 3 月 13 日（水） 出席理事：26 名

- 審議事項 1 平成 25 年度事業計画・予算（案）について
- 2 会費規程の一部改訂（案）について

- 3 新入会員承認の件
- 4 定款の一部改訂（案）について
- 5 叙勲・褒章等への推薦について
- 報告事項 1 CEATEC JAPAN 主催について
- 2 電子会議システムについて
- 3 IPA 情報セキュリティ標語・ポスター・4コマ漫画コンクールへの協力について
- 4 平成 25 年度組織体制及び研究会活動紹介説明会 (4/10)
- 5 CSAJ 定時総会等の開催について
- 6 ソフトウェア管理ガイドラインの改訂について
- 7 平成 24 年度認定試験事業報告
- 8 平成 25 年度の CSAJ と ACSP との契約について
- 9 後援名義使用等について
- 10 各種セミナー等開催案内、終了報告
- 11 その他

※理事会の議事録は以下の Web からご参照いただけます。

<http://www.csaj.jp/member/rijikai.html>

(会員専用ページのため、閲覧には ID/PW が必要になります。ID/PW は、毎月 1 日/15 日に配信している CSAJ NEWS でお知らせしています。)

4. 各種交流会・懇親会

人的交流およびビジネスチャンス拡大を目的に、以下の交流会等を企画実施致しました。

○総会懇談会

会期：平成 24 年 6 月 13 日（水）、会場：ホテルオークラ、参加者：390 名

※実施報告掲載：http://www.csaj.jp/info/12/120613_soukairepo.html

○会員交流会

会期：平成 24 年 9 月 12 日（水）、会場：トスラブ山王、参加者：105 名

※実施報告掲載：http://www.csaj.jp/info/12/12_nouryou/report.html

○賀詞交歓会

会期：平成 25 年 1 月 23 日（水）、会場：帝国ホテル、参加者：427 名

※実施報告掲載：http://www.csaj.jp/info/13/130123_gashirepo.html

一般社団法人コンピュータソフトウェア協会
平成25年度 理事・監事 役員

(敬称略)

◆会長 (1名)

和田 成史 ワダ シゲフミ (株)オービックビジネスコンサルタント 代表取締役社長

◆副会長 (5名)

襟川 恵子 エリカワ ケイコ コーエーテクモホールディングス(株) 取締役名誉会長

木下 仁 キノシタ ジン (株)アールワークス 代表取締役社長

山本 祥之 ヤマモト ヨシユキ (株)インテリジェントウェイブ 代表取締役社長

荻原 紀男 オギワラ ノリオ (株)豆蔵ホールディングス 代表取締役社長

豊田 崇克 トヨダ タカヨシ ネクストウェア(株) 代表取締役社長

◆専務理事 (1名)

前川 徹 マエガワ トオル 一般社団法人コンピュータソフトウェア協会 (常勤)

◆理事 (29名)

山田 正彦 ヤマダ マサヒコ (株)ワコム 代表取締役社長

板東 直樹 バンドウ ナオキ アップデート テクノロジー(株) 代表取締役社長

藤井 洋一 フジイ ヨウイチ 日本ナレッジ(株) 代表取締役

五十木 正 イカルギ タダシ (株)ワークスアプリケーションズ 執行役員

佐藤 武 サトウ タケシ ミラクル・リナックス(株) 代表取締役会長

水谷 学 ミズタニ マナブ ビー・シー・エー(株) 代表取締役社長

田中 啓一 タナカ ケイチ 日本事務器(株) 代表取締役社長

樋口 泰行 ヒグチ ヤスユキ 日本マイクロソフト(株) 代表執行役社長

溝口 泰雄 ミゾグチ ヤスオ ソフトバンクBB(株) 取締役 常務執行役員

竹原 司 タケハラ ツカサ (株)デザイン・クリエイション 最高顧問

牧田 孝 マキタ タカシ (株)社会情報サービス 代表取締役社長

大塚 裕司 オオツカ ユウジ (株)大塚商会 代表取締役社長

青野 慶久 アオノ ヨシヒサ サイボウズ(株) 代表取締役社長

田中 聡 タナカ サトシ (株)ミクロス ソフトウェア 代表取締役社長

高部 美紀子 タカベ ミキコ 一般社団法人コンピュータソフトウェア協会 事務局長 (常勤)

多田 敏男 タダ トシオ TAC(株) 取締役副社長

平野 高志 ヒラノ タカシ ブレークモア法律事務所 弁護士

宇野 和彦 ウノ カズヒコ (株)スキルメイト 代表取締役

杉本 淳一 スギモト ジュンイチ (株)コスモ・コンピューティングシステム 代表取締役

張 佑 チョウ キチ 長城コンサルティング(株) 代表取締役社長

東尾 公彦 ヒガシオ キミヒコ コナミ(株) 取締役

安延 申 ヤスノベ シン SGシステム(株) 代表取締役社長

小屋 晋吾 コヤ シンゴ トレンドマイクロ(株) 執行役員 統合政策担当

宗像 義恵 ムナカタ ヨシエ インテル(株) 取締役副社長

齋藤 憲次 サイトウ ケンジ (株)内田洋行 取締役 執行役員情報事業本部本部長

北原 佳郎 キタハラ ヨシロウ ラクラス(株) 代表取締役社長

金成 葉子 カナリ ヨウコ (株)シー・シー・ダブル 代表取締役社長

村瀬 正典 ムラセ マサノリ (株)バース情報科学研究所 代表取締役社長

三津島 貴寛 ミツシマ タカヒロ NTTコムウェア(株) 取締役 通信ビジネス事業本部 事業企画部長

◆監事 (2名)

山田 隆明 ヤマダ タカアキ 山田隆明公認会計士事務所 公認会計士

浅野 悦男 アサノ エツオ (株)ビジネスアプリケーション 代表取締役社長

(理事:36名、監事:2名)

※平成 24 年度期中に辞任した理事は以下の通りです。

理事 金丸 恭文 (フューチャーアーキテクト株式会社) 平成 25 年 3 月末日付け

平成 24 年度 CSAJ 活動分野別担当理事制

- CSAJ 全体 和田成史会長(オービックビジネスコンサルタント)
前川徹専務理事
高部美紀子理事・事務局長
- 会長代行 襟川恵子理事 (コーエーテクモホールディングス)
木下仁理事 (アールワークス)
山本祥之理事 (インテリジェントウェイブ)
荻原紀男理事 (豆蔵ホールディングス)
豊田崇克理事 (ネクストウェア)
前川徹専務理事
- 政策検討 総務委員会 (会長+副会長+専務理事)
安延申理事 (SGシステム)
- 法務/税務 (知財) ●平野高志理事 (弁護士)
樋口泰行理事 (日本マイクロソフト)
杉本淳一理事 (コスモ・コンピューティング)
(契約) ●板東直樹理事 (アップデートテクノロジー)
齋藤憲次理事 (内田洋行)
(税務) ●荻原紀男理事 (豆蔵ホールディングス)
水谷学理事 (ピーシーエー)
- 人材教育担当 ●宇野和彦理事 (スキルメイト)
木下仁理事 (アールワークス)
- 技術担当 ●山本祥之理事 (インテリジェントウェイブ)
藤井洋一理事 (日本ナレッジ)
佐藤武理事 (ミラクル・リナックス)
田中啓一理事 (日本事務器)
溝口泰雄理事 (ソフトバンク BB)
宗像義恵理事 (インテル)
小屋晋吾理事 (トレンドマイクロ)
三津島貴寛理事 (NTT コムウェア)
- 国際担当 ●豊田崇克理事 (ネクストウェア)
竹原司理事 (デザイン・クリエイション)
五十木正理事 (ワークスアプリケーションズ)
青野慶久理事 (サイボウズ)
張佶理事 (長城コンサルティング)
金成葉子理事 (シーシーダブル)
村瀬正典理事 (バース情報科学研究所)
- 協会内・外ビジネス交流担当
(ベンチャー育成) ●田中聡理事 (マイクロソフトウェア)
(広報・交流) ●牧田孝理事 (社会情報サービス)
東尾公彦理事 (コナミ)
北原佳郎理事 (ラクラス)
(他団体交流) ●大塚裕司理事 (大塚商会)
(会員拡大) ●豊田崇克理事 (ネクストウェア)
- 試験事業担当 ●山田正彦理事 (ワコム)
多田敏男理事 (TAC)

●=各分野におけるリーダー/2013. 3. 31 現在

6. 会員の變動状況

平成 24 年度中の会員の變動は以下の通りです。

＜平成24年度会員区分別会員数の増減＞

会員区分	期首 会員数	期中 増減数	期末 会員数
正会員	347	-3	344
特別賛助会員	2	0	2
一般賛助	32	0	32
行政会員	4	-2	2
試験会場会員	18	-2	16
年会費有料会員計	403	-7	396

準会員（無料）数	15	-4	11
----------	----	----	----

総合計	418	-11	407
-----	-----	-----	-----

＜平成24年度期中増減数の内訳＞

新規入会 会員数 (移行数)		退会 会員数
34	(+12)	37
0	0	0
1	0	1
0	0	2
0	(+1)	2
35	(+13)	42

19	(-12)	23
----	-------	----

54		65
----	--	----

○平成 24 年度期末の会員企業は以下の通り。☆印=平成 24 年度期中入会

＜正会員 344 社（準会員からの移行会員含む）＞

株式会社アークインターナショナル	エーアンドエー株式会社
株式会社アート・システム	株式会社エーエルジェイ
株式会社アール・アイ	株式会社エイチアイ
アールテクニカ株式会社	エイチスリーパートナーズ有限公司
株式会社アールワークス	株式会社エイ・ピー・シー
株式会社アイキューブ	株式会社エクステンジコーポレーション
株式会社アイソルート	株式会社エクセルシア
I T エージェント株式会社	株式会社 S R A
株式会社アイティーシー	株式会社エスアイ・システム
株式会社アイティーソリューション	株式会社 S E デザイン
株式会社 I T C S	S C S K 株式会社
アイティマークス株式会社	S G システム株式会社
アイビーシー株式会社	株式会社エス・ディ・エス
株式会社アイブラザ	株式会社エスペシャリティ
株式会社アヴァンザ	株式会社エニウェア
☆株式会社アウトソーシング・システム・コンサルティング	☆株式会社エヌ・エス・ディ
株式会社アクティス	エヌ・ティ・ティ・コムウェア株式会社
株式会社アスペックス	エヌ・ディー・アール株式会社
アップデートテクノロジー株式会社	☆エバ電子株式会社
アテイン株式会社	☆株式会社 F. tron
アドバンスデザイン株式会社	エブソン販売株式会社
アドビスシステムズ株式会社	株式会社エボルバビジネスサポート
有限会社あまくさ藍ネット	株式会社 M S C
株式会社アライアンスグループ	株式会社 M M 総研
株式会社アルゴグラフィックス	特定非営利活動法人エルピーアイジャパン
株式会社アレグシード	エンカレッジ・テクノロジー株式会社
☆anbx 株式会社	オー・エイ・エス株式会社
イーディーコントライブ株式会社	株式会社 O S K
イアス株式会社	オートデスク株式会社
イクシアコミュニケーションズ株式会社	株式会社オービックビジネスコンサルタント
株式会社井ロ一世	☆株式会社オーランシステム
株式会社イデアル	応研株式会社
☆イノベクス株式会社	株式会社大塚商会
☆彩葉ソリューションズ	大野総合法律事務所
☆インヴェンティット株式会社	オデッセイヒューマンシステム株式会社
株式会社インターコム	オレンジセキュアサービス株式会社
株式会社インターフュージョン・コンサルティング	株式会社カーネルソフト
株式会社インテリジェントウェイブ	株式会社カイエンシステム開発
インテル株式会社	税理士 笠原清明事務所
有限会社インディーロム	カシオ情報機器株式会社
株式会社インフィニテック	株式会社きつとエイエスピー
インフィニートク株式会社	キャノンソフトウェア株式会社
インフォグリーン株式会社	株式会社キューブマジック
株式会社インフォテック・サーブ	株式会社ギガプライズ
株式会社インフォメッシュ	株式会社クオリティ・アンド・バリューコンサルティング
株式会社インプレスビジネスメディア	クリエーションライン株式会社
株式会社ヴァル研究所	株式会社クリックス
株式会社ヴィバーク	株式会社クレオソリューション
☆ヴォルフガング株式会社	株式会社クレオネットワークス
株式会社 WeMade Online	株式会社クレオマーケティング
ウィツェル株式会社	クロス・コンセプト株式会社
株式会社ウエンズ	株式会社クロスパワー
株式会社ウチダ人材開発センタ	クロノス株式会社
株式会社内田洋行	株式会社グリーンキャット
弁護士法人漆間総合法律事務所	グリッド・リサーチ株式会社

グローバルイノベーションコンサルティング株式会社
 株式会社グローバル・パートナーズ・テクノロジー
 ☆グローバルフレンドシップ株式会社
 株式会社グローバルワイズ
 株式会社ケーイーシー
 有限会社ケースメソッド
 株式会社K&Kパワー
 経営創研株式会社
 コーエーテックモホールディングス株式会社
 株式会社神戸デジタル・ラボ
 コガソフトウェア株式会社
 株式会社コスモ・コンピューティングシステム
 コナミ株式会社
 コムチュア株式会社
 株式会社コロネット
 コンピュータ・テクノロジー株式会社
 CompTIA日本支局
 株式会社サートプロ
 株式会社サイエンスハウス
 株式会社サイズ
 サイバーステーション株式会社
 サイバートラスト株式会社
 サイボウズ株式会社
 株式会社サカコー
 株式会社サンシーア
 株式会社サンテック
 ☆株式会社算法
 株式会社サンワ
 サンワサブライ株式会社
 株式会社シー・アイ・エス
 ☆株式会社シーアイシー
 株式会社シー・エー・エム
 株式会社CAEソリューションズ
 株式会社シー・シー・ダブル
 株式会社シーピーユー
 シェアクレスト株式会社
 シグマドリーム株式会社
 システムアソシエイト株式会社
 株式会社システムエグゼ
 株式会社システムカルチャー
 株式会社システムコミュニケータ
 株式会社システムコンサルタント
 株式会社システムシンク
 株式会社システムズナカシマ
 株式会社システムソリューションセンターとちぎ
 株式会社システム・テクノロジー・アイ
 株式会社システムディ
 株式会社システムラボ
 システムロード株式会社
 ☆株式会社シスバル
 シネックスインフォテック株式会社
 芝ソフト株式会社
 株式会社シビルソフト開発
 株式会社シムコス
 社会システム株式会社
 株式会社社会情報サービス
 秀峰システム株式会社
 首都圏ソフトウェア協同組合
 株式会社正栄設計事務所
 ☆新高和ソフトウェア株式会社
 株式会社新進商会
 株式会社新生技術開発研究所
 株式会社シンプレクス・コンサルティング
 株式会社シンプレクス
 株式会社シンメトリクス
 ☆株式会社ジークホールディングス
 J B アドバンスト・テクノロジー株式会社
 ジェネシス株式会社
 株式会社ジャニス
 株式会社情報処理システム研究所
 S k y 株式会社
 株式会社スキルメイト
 杉浦技術士事務所
 ☆株式会社スタートアッププラス
 株式会社セールスフォース・ドットコム
 ゼッタテクノロジー株式会社
 株式会社ソフトウェアクレイドル
 株式会社ソフトニック
 ソフトバンク・テクノロジー株式会社
 ソフトバンク B B 株式会社
 ソリマチ株式会社
 株式会社ソリューション・アンド・テクノロジー
 ゾイックス株式会社
 株式会社タスクフォース
 株式会社ダイナックス
 株式会社大和コンピューター
 ダイワボウ情報システム株式会社
 株式会社チェプロ
 長城コンサルティング株式会社
 株式会社ティ・エス・サービス
 テクニカル情報システム株式会社
 株式会社鉄飛テクノロジー
 株式会社テラスカイ
 株式会社テレマークス
 ☆株式会社テンド
 株式会社DHI
 株式会社ディーバ
 株式会社DBMaker Japan
 株式会社ディアイティ
 株式会社デザイン・クリエイション
 株式会社デジタルコミュニケーションズ
 株式会社デジタルファクター
 株式会社デュエル
 トーフシステムサポート株式会社
 東京システムハウス株式会社
 東京ソフトウェア株式会社
 東芝情報機器株式会社
 株式会社トップゲート
 トライボッドワークス株式会社
 株式会社TRADECREATE
 トレンドマイクロ株式会社
 株式会社ナノオプト・メディア
 株式会社Knowlbo
 株式会社日経エージェンシー
 日研システム株式会社
 日本システム開発株式会社
 日本事務器株式会社
 ☆ニフティ株式会社
 日本アウダテックス株式会社
 日本SE株式会社
 日本オラクル株式会社
 株式会社日本健康産業
 日本システムクリエイト株式会社
 株式会社日本システムデザイン
 日本スーパーマップ株式会社
 株式会社 日本創芸教育
 株式会社日本ソフトウェアクリエイティブ
 日本通信エレクトロニクス株式会社
 ☆日本ティーマックスソフト株式会社
 日本デジタルデザイン株式会社
 日本ナレッジ株式会社
 ☆日本ビジネスシステムズ株式会社
 日本マイクロソフト株式会社
 ニューロネット株式会社
 株式会社ネオジャパン
 根岸事務所
 ネクストウェア株式会社
 株式会社ネクストエデュケーションシンク
 ☆ネクストキャディックス株式会社
 株式会社ネットウイズ
 ネットスイート株式会社
 Harness 有限責任事業組合
 ☆ハynesソリューションズ株式会社
 株式会社ハイパーテック
 株式会社バース情報科学研究所
 株式会社バイオス
 株式会社BUZZ
 株式会社バッファロー
 株式会社バリュープランニング
 株式会社バスカリア
 株式会社パラドクス
 有限会社バルシステム
 株式会社日立システムズ
 株式会社日立ソリューションズ
 ひばりネットシステム株式会社
 株式会社ヒューネット
 株式会社ヒューマンキャピタル研究所
 株式会社ビーエス・ジェイ
 ☆BB ソフトサービス株式会社
 株式会社ビジネスアプリケーション

- 株式会社ビーエスシー
 ピー・シー・エー株式会社
 ファイルメーカー株式会社
 株式会社ファンプラス
 フォーエム株式会社
 フォーディーネットワークス株式会社
 株式会社フォーラムエイト
 株式会社フォトハイウェイ・ジャパン
 株式会社フォトロン
 ☆フォルテックス株式会社
 富士ゼロックス株式会社
 富士通エフ・オー・エム株式会社
 株式会社富士通エフサス
 富士通コミュニケーションサービス株式会社
 株式会社富士通マーケティング
 株式会社富士通ラーニングメディア
 株式会社藤原事務所
 株式会社筆まめ
 株式会社フュージョンアイ
 フリービット株式会社
 フルライン株式会社
 有限会社フロンティア・オンライン
 ☆ブレイクモア法律事務所
 株式会社ブレイクスルー
 株式会社ブロードリーフ
 社会福祉法人プロップ・ステーション
 株式会社Hermes Corporation
 ベース株式会社
 株式会社ベクター
 株式会社ホープクリエイト
 株式会社ホープス
 株式会社ボールド
 株式会社マイクロメイ
 マカフィー株式会社
 マジックソフトウェア・ジャパン株式会社
 株式会社豆蔵ホールディングス
 株式会社ミクロス ソフトウェア
- <特別賛助会員 2社>
 日本電気株式会社
- <一般賛助会員 32社>
 一般社団法人IT検証産業協会
 ERP研究推進フォーラム
 財団法人インターネット協会
 NECネットエスアイ株式会社
 関東ITソフトウェア健康保険組合
 関東ITソフトウェア厚生年金基金
 一般社団法人企業情報化協会
 キャピタル・パートナーズ証券株式会社
 一般社団法人組込みシステム技術協会
 SaaSクラウド・パートナーズ協会
 公益社団法人埼玉県情報サービス産業協会
 公益財団法人しまね産業振興財団
 一般社団法人情報機器リユース・リサイクル協会
 一般社団法人情報サービス産業協会
 一般社団法人情報通信ネットワーク産業協会
 全国商工会連合会
- <行政（賛助）会員 2社>
 北海道 北見市
- <試験会場（賛助）会員 16社>
 株式会社アスク
 株式会社アドバン
 有限会社インフィニティー
 インプレサリオス株式会社
 株式会社エービーエス
 株式会社キャドフォーラム
 株式会社シーキューブ
 湘南技術センター株式会社
- <準会員 11社>
 株式会社アローズネクスト
 インディビジュアルシステムズ株式会社
 株式会社オーエイチエスニューノ
 株式会社オークニー
 株式会社チームスピリット
 株式会社データロジック
- 株式会社ミック
 株式会社ミップス
 株式会社ミモザ情報システム
 ミラクル・リナックス株式会社
 株式会社ミロク情報サービス
 メガソフト株式会社
 株式会社メディアシーク
 株式会社メディア・ソリューション
 メディアドライブ株式会社
 株式会社メディアミックス
 株式会社モバイルブック・ジェービー
 山田隆明公認会計士事務所
 弥生株式会社
 株式会社USTAGE
 ユニオンソフト株式会社
 有限会社ユニバーサル・シェル・プログラミング研究所
 株式会社ユラス
 株式会社横浜ドキュメントデザイン
 ラクラス株式会社
 株式会社ラナップ
 株式会社リード・レックス
 ☆株式会社理経
 リコーITソリューションズ株式会社
 ☆リコージャパン株式会社
 ☆株式会社リザープリンク
 リスクモンスター株式会社
 株式会社リメディア
 株式会社ルートプロ
 株式会社レジェンドアプリケーションズ
 ロック・ストアハウス株式会社
 株式会社ワークスアプリケーションズ
 株式会社ワークスビジネスサービス
 ☆ワークブレイン・ジャパン株式会社
 ☆WORLD MEDICAL CENTER JAPAN 株式会社
 Y'sラーニング株式会社
 株式会社ワコム
 ☆ワンビ株式会社
- 富士通株式会社
- 一般社団法人全国地域情報産業団体連合会
 一般財団法人ソフトウェア情報センター
 TAC株式会社
 大栄教育システム株式会社
 株式会社電波新聞社
 特定非営利活動法人札幌ビズカフェ
 ☆一般社団法人日本コンピュータシステム販売店協会
 一般社団法人日本ソフトウェア産業協会
 社団法人日本テレワーク協会
 特定非営利活動法人日本ネットワークセキュリティ協会
 一般財団法人日本パソコンスクール協会
 野村証券株式会社
 株式会社BCN
 一般社団法人北海道IT推進協会
 三菱UFJ信託銀行株式会社
 モバイルコンピューティング推進コンソーシアム
- 和歌山県
- ゼネラルエンジニアリング株式会社
 株式会社ソフトキャンパス
 株式会社ナガセPCスクール
 株式会社日本ライセンスバンク
 ヒューマンアカデミー株式会社
 ピーシーアシスト株式会社
 株式会社フロンティア
 株式会社マチス教育システム
- ネットレコーダー・ソリューションズ株式会社
 ビジネスメンター株式会社
 株式会社ブルーポート
 株式会社ロジックペイン
 株式会社ワン・オー・ワン

Ⅲ. 委員会・研究会活動

1. 総務委員会<登録：5社6名>

委員長：和田 成史（㈱オービックビジネスコンサルタント 代表取締役社長）

平成 24 年度は、4 回の委員会を開催し、当該年度の事業計画・収支の把握、CSAJ 主催の試験事業の継続等について検討するとともに CSAJ の将来を語る会の設置、平成 24 年度情報化月間における表彰候補者の推薦、叙勲・褒章等への協会としての推薦の検討などが行われました。

〔主な検討事項〕

- ・理事会建議事項等の検討
- ・平成 24 年度の事業内容および決算見込みについて
- ・次年度の活動計画および予算計画について
- ・ソフトウェア産業ビジョン検討 WG の設置について
- ・CSAJ の将来を語る会の設置について
- ・情報化促進貢献個人等推薦の検討
- ・叙勲・褒章等への推薦に関する件
- ・認定試験事業における CSAJ と ACSJ 間での関係性について
- ・CAD 利用技術者試験および会計ソフト実務能力試験について
- ・一般社団法人移行に伴う各種規程等の変更について
- ・事務局内人事および各種事務局内規程等の見直しについて
- ・役員報酬・役員慰労金について
- ・CSAJ 功労賞(仮称)の設置について

1) 平成 24 年度情報化促進貢献情報処理システム表彰への推薦

経済産業省をはじめとする関係府省（内閣府、総務省、財務省、文部科学省、国土交通省）が、昭和 47 年から実施している「情報化月間（毎年 10 月）」の一環として、経済産業省では、我が国の情報化の促進に多大に寄与した個人、企業等を経済産業大臣等が表彰する「情報化促進貢献個人等表彰」を実施しています。

これに対し、CSAJ では、会員より対象企業を公募し、個人部門：1 件、企業部門：3 社から応募があり、総務委員会での事前審査を経て経済産業省へ推薦しました。

その決定、個人部門及び企業部門で以下のとおり受賞となり、10 月 1 日に表彰されました。

- ・個人部門 和田 成史氏

CSAJ 会長、株式会社オービックビジネスコンサルタント 代表取締役社長

情報化月間個人部門表彰 http://www.johokagekkan.go.jp/prize_personal.php

- ・企業等部門 トレンドマイクロ株式会社

情報化月間企業等部門表彰 http://www.johokagekkan.go.jp/prize_company.php

2) ソフトウェア産業ビジョン検討 WG

日本のソフトウェア業界が抱えている問題・課題を洗い出し、あるべき姿について検討するとともに、政府等に対する提言をおこなうことを目的に設置され、新ソフトウェア産業ビジョンに関する議論が行われました。検討結果については、議論のまとめ（メモ）を作成し、経済産業省商務情報政策局情報処理振興課長に手交すると同時に、政策委員会に検討を引き継ぐこととしました。なお、議論にあたっては、2 回の会合とあわせてコミュニティサイト「サイボウズ Live」を利用しました。

3) CSAJ の将来を語る会

CSAJ 会員数の減少傾向は、近年の経済状況にも影響を受けているものの、CSAJ の将来を今後どうすべきかを本気で検討する時期が来ているとの危機感から、理事メンバーや各委員会等の委員長等との 2 回のディスカッションを踏まえ、CSAJ の将来像とその具体策について検討を行い、平成 25 年度より実施可能な対策については、事業計画に反映いたしました。

2. 法務・知財委員会<登録：34社44名>

委員長：舟山 聡（日本マイクロソフト㈱ 法務・政策企画統括本部 法務本部長・弁護士）

副委員長：平野 高志（ブレイクモア法律事務所 弁護士）

副委員長：杉本 淳一（㈱コスモ・コンピューティングシステム 代表取締役）

平成 24 年度は、6 回の委員会を開催し、以下の活動を行いました。

- 1) IT 企業の法務・知財に影響のあるテーマをピックアップして考察・検討

- ・クラウドコンピューティングに係る法的問題
- ・日本 IBM とスルガ銀行のシステム開発訴訟事例
- ・外為法とソフトウェアの輸出管理（クラウド含む）
- ・下請法対応とポイント
- ・「電子商取引及び情報財取引等に関する準則」改訂内容
- ・経済産業分野を対象とする個人情報保護ガイドライン等の内容・動向

2) 旬な話題や時事の事案等に関する情報提供・情報共有

- ・法務知財の旬な話題（法改正動向や裁判事例など）
- ・ソフトウェア管理ガイドラインの改訂に向けた活動状況報告
- ・スマートフォンの利用者情報等に関する連絡協議会活動状況報告

3) 関係省庁等との意見交換

- ・意匠画像デザイン保護拡大に関する意見交換（経済産業省、特許庁）
- ・民法（債権関係）改正に関する提言のうち、電子契約の成立時期と申込推定規定について意見交換（経済産業省）
- ・「集団的消費者被害回復に係る訴訟制度案」に関する意見交換（消費者庁）

4) 関係省庁等への要望とりまとめ・提出

- ・平成 24 年 11 月 15 日(木)、特許庁へ「画像デザイン保護拡充の方向性に関する事務局案」について意見を提出

3. 契約検討委員会<登録：14 社 19 名>

委員長：板東 直樹（アップデートテクノロジー(株)代表取締役社長）

平成 24 年度は、3 回の委員会を開催し、以下の活動を行いました。

- 1) CSAJ と一般社団法人日本コンピュータシステム販売店協会（JCSSA）で組織している「情報システム取引者育成協議会」が運営している「情報システム取引者育成プログラム」に関する施策等の検討
- 2) 情報システム取引者育成プログラムに関する TAC 株式会社との運営協力締結
- 3) 情報システム取引者育成プログラムに関する一般社団法人日本情報システム・ユーザー協会（JUAS）との意見交換

また、情報システム取引者育成協議会コンテンツワーキンググループ（CSAJ 事務局主体）における活動実績（WG4 回、サブ WG2 回開催）は以下の通り。

- 1) 基礎講座・研修講座用パワーポイント資料の改訂
- 2) 受講者向け教材（基礎講座、研修講座）の見直し・改編、冊子制作
- 3) めるまが用配信コンテンツの作成
- 4) 情報システム取引者向け wiki ページの作成
- 5) 修了テスト問題の作成、検証
- 6) 制度ワーキンググループ（JCSSA 事務局主体）との連携・協力

※なお、情報システム取引者育成プログラムで実施した講座実績等は、「業界関連および会員支援活動等」の「情報システム取引者育成プログラムの実施」部分で報告

4. 人材育成委員会<登録：33 社 56 名>

委員長：宇野 和彦（株スキルメイト 代表取締役）

副委員長：木下 仁（株アールワークス 代表取締役社長）

副委員長：木田 徳彦（株インフォテック・サーブ 代表取締役社長）

平成 24 年度は、6 回の委員会と CCSF 活用ワークショップおよびタレントマネジメントセミナーを開催し、以下の活動を行いました。

1) 第 1 回 CCSF（共通キャリア・スキルフレームワーク）活用ワークショップ企画・開催

独立行政法人情報処理推進機構（IPA）の協力の下、全6回（3時間/回）のワークショップを開催いたしました。求められるIT人材像も変わって来ており、現在の業務に対応した人材育成はスキル標準（ITSS）だけでは難しいと感じている企業も多く、今までであった人材像だけでは足りないケースや複数の人材像のタスクが統合しているケースなどの不具合を、新しく登場したCCSFで解決できることを期待してワークショップを開催しました。

- 1) 7月27日(金) 12:30～14:40
- 2) 8月7日(火) 14:00～17:00
- 3) 8月28日(火) 14:00～17:00
- 4) 9月11日(火) 14:00～17:00

- 5) 9月25日(火) 10:00～13:00
- 6) 10月16日(火) 14:00～17:00

[カンファレンスの企画・開催]

○CEATEC JAPAN 2012

平成24年年10月5日(金)「CSAJ 企画～ソフトウェア業界トレンドセッション～」

- ・SS-13「経済産業省のIT人材育成政策」(参加:93名)
- ・SS-14「ビジネスモデル変革期の企業を、より成長させるために必要な人材とは?～CCSF(共通キャリア・スキルフレームワーク)活用による人材育成強化～」(参加:112名)

開催報告 URL http://www.csaj.jp/info/12/121005_ceatecrepo.html

[CCSF 活用ワークショップ実施報告会の開催]

日時:平成25年3月15日(金)(於:CSAJ 会議室)

半年にわたり開催されたワークショップの概要説明が行われ、参加企業による事例紹介および講師からの感想が発表されました。(参加:15社19名)

終了報告 URL http://www.csaj.jp/info/13/130315_ccsf.html

2) タレントマネジメントセミナー開催及び意見交換

日程:平成25年3月8日(於:CSAJ 会議室)

最近注目されているタレントマネジメントについてセミナーを実施しました。

- 第1部 ・日本における人材/タレントマネジメントシステムの現状
 - ・他社はどのように人材/タレントマネジメントにITを活用しているか
- 第2部 ・共通キャリア・スキルフレームワーク、独自スキルフレームワークに対応
 - ・人材育成の為にタレント・スキル管理フレームワーク構築ツールについて
- 第3部 ・タレントマネジメントとどのように取り組むのか

開催案内 URL http://www.csaj.jp/seminar/2013/0308_seminar.html

3) 内定者向け社会人基礎力研修講座の企画・実施

日程:平成25年3月5日(火)～3月6日(水)(於:CSAJ 会議室)

前年度開催時と同様の内容で実施いたしました。(参加:4社11名)

- ・内定者自身が、社会人基礎力で求められる能力と現状のギャップを把握し、入社までにステップアップできるように指導
- ・状況に応じた行動選択について、ワークショップ形式のディスカッションを行う事により、自己判断とグループ判断の違いを認識
- ・受講した結果、改善したい自己能力要素を選定し、いつまでにどのように改善するか計画を作成(アクションプランの作成)
- ・アクションプランを参加企業の人事担当者へ社内教育への参考資料としてフィードバック
- ・入社後の自己能力を再確認するためのフォローアップ研修を実施(平成25年6月下旬予定)

4) 関係省庁等の委員会参加による情報提供

「IT人材白書2012(IPA)」

「次世代高度IT人材育成WG(METI)」

「ITパスポート試験制度の推進について(METI、IPA)」

5) その他人材育成に関する情報提供・共有

- ・産学連携活動について:グローバル人材とイノベーション人材の育成手法
- ・委員会内セミナー「なぜ今タレントマネジメントなのか～人材育成『求める人物像』への到達を加速させる3つの視点～」
- ・「成長分野等人材育成支援奨励金制度」について情報提供

5. 国際委員会

委員長:豊田 崇克(ネクストウェア株式会社 代表取締役社長)

アジア圏を中心としたビジネス進出の拡大を目指し、現地の情報を収集すると共に、現地日系企業や関連団体等との交流を通じてネットワークやビジネスパートナーを作るため、各種セミナー等を企画・実施しました。

<台湾政府および中華民国情報サービス産業協会(CISA)との意見交換並びに覚書の締結>

台湾政府(經濟部)および中華民国情報サービス産業協会(CISA)が来日し、今後の双方の団体で各種協力関係を結ぶためにMOU(覚書)を交わし、意見交換を行いました。

参加人数はCSAJ 国際委員会/中国ビジネス研究会参加企業等(16名)、台湾經濟部および中華

民国情報産業協会（CISA）が23名と総勢39名で行いました。

会 期：平成24年10月30日(火)

開催地：東京（CSAJ 会議室）

※実施報告掲載：http://www.csaj.jp/info/12/121030_taiwan.html

1) 中国ビジネス研究会（平成24年12月以降はアジアビジネス研究会として活動）

<登録：34社54名>

主査：竹原 司（㈱デザイン・クリエイション 最高顧問）

第2回「日・中 企業情報化ソフトウェアサミット（開催地：東京・赤坂）」を平成24年6月に実施するとともに、中国進出の事例情報や海外動向などに関するセミナー等を企画・開催しました。

<第2回 日・中 企業情報化ソフトウェアサミットの開催>

（リーダー：五十木正／㈱ワークスアプリケーションズ・CSAJ 理事）

中国ソフトウェア産業協会（CSIA）との共催で平成23年第1回日・中企業情報化ソフトウェアサミット（徐州）に引き続き、平成24年6月13日、東京にて「第2回 日・中企業情報化ソフトウェアサミット」が以下の通り開催され、CSAJからは23企業・団体36名、中国側からは当初参加予定の徐州市がビザの問題で不参加となりましたが、北京、成都から参加、さらには在日中国大手企業からの参加もあり、総勢約50名のサミットとなりました。

主 催：日本／一般社団法人コンピュータソフトウェア協会（CSAJ）

中国／中国ソフトウェア産業協会（CSIA）

会 期：平成24年6月13日(水)

開催地：東京（赤坂溜池タワー会議室）

※実施報告掲載：http://www.csaj.jp/info/12/120613_jcsummit.html

<研究会・セミナーの開催>

○平成24年4月3日（火）（第1回）

- ・中国最新情報（成都の基本情報と最近の話題）
- ・『中国成都市のIT産業とアウトソーシング業界における人材育成』について

○平成24年7月4日（水）（第2回）

- ・「第2回日・中企業情報化ソフトウェアサミット報告」
- ・「第3回（成都市予定）サミットについて」
- ・「本格起動したNew Golden Triangle（日-台-中）の魅力」
- ・「海外との安全決済システムーペイパラーの実用性」

○第3回 日・中 企業情報化ソフトウェアサミット（開催地：中国・成都）

CSAJ と CSIA の共同開催で準備を進めており、事前準備会を9月成都にて行う予定でしたが、日中関係の悪化から中止となり、その後改善の兆しが立つまで一旦中止となりました。

2) アジアビジネス研究会（平成24年12月より活動）

主査：竹原 司（㈱デザイン・クリエイション 最高顧問）

日中関係の問題をうけて、中国ビジネス研究会をミャンマーなどアジア圏に拡大した活動を行うためにアジアビジネス研究会として活動を開始しました。

○平成24年12月6日（木）（準備会並びにセミナー開催）

- ・アジアへの人材教育とビジネスの可能性
- ・インドIT事情とビジネス事例
- ・ミャンマーIT事情とビジネス事例

○平成25年3月28日（木）（第1回）

- ・今だから、中国ビジネス —中国市場最前線レポート—

6. 技術委員会<登録：6社6名>

委員長：山本 祥之（㈱インテリジェントウェイブ 代表取締役社長）

副委員長：佐藤 武（㈱ミラクル・リナックス 代表取締役会長）

副委員長：田中 啓一（日本事務器㈱ 代表取締役社長）

副委員長：下野 文久（インテル㈱ ソフトウェア・マーケティング統括部長）

副委員長：小屋 晋吾（トレンドマイクロ株式会社 執行役員 統合政策担当）

副委員長：三津島 貴寛（エヌ・ティ・ティ・コムウェア株式会社 取締役 通信ビジネス事業本部 事業企画部長）

平成 24 年度は、4 回の委員会を開催し、会員企業に共通性が見出せる技術関連のテーマや技術者間の交流を促すためのコミュニティ形成活動について議論を行うとともに、会員企業保有技術検索サービスの更新を行いました。なお、会員企業からの特に要望の多いクラウドコンピューティング、モバイルコンピューティング、セキュリティ（新設）については専門ワーキンググループを設置し、具体的な活動を行いました。

〔技術者対象のコミュニティ形成活動〕

委員企業間で技術者の企業横断的なコミュニティを形成するために、試験的に委員各社で行う要素技術勉強会を公開し、技術者間交流を図る取組を 6 回実施。

テーマ：Xen App 構築基礎、サーバー仮想化、Linux 研修（応用編）、Linux 基礎、PostgreSQL データベース管理（応用編）、クライアント仮想化研修（XenDesktop5 Vmware View 5.0）

※本活動の議論の中で Ruby を対象とした技術者交流を企画し、クラウドコンピューティング WG へ企画を移行。

〔SNS の導入〕

技術委員会及び下部組織の各ワーキンググループにおいて、情報共有や共同作業を行う目的で SNS の導入を決定。

〔会員企業保有技術検索サービス〕

本サービスの利用拡大を図るために会員企業への更新・新規掲載について周知を行い、サイト情報を更新。（登録 83 件、一般公開）

「会員企業保有技術検索サービス」 <http://www.csaj.jp/tmap/>

1) クラウドコンピューティングワーキンググループ<登録：19 社 21 名>

主査：佐藤 武（㈱ミラクルリナックス 代表取締役会長）

平成 24 年度は、3 回のワーキングを開催し、クラウド関連最新技術のセミナー企画・実施、技術者交流を目的としたツアーの企画・運営を行うとともに、昨年度からの継続調査として会員企業の SaaS 事業担当者とのコミュニケーションを図るためのアンケートを実施しました。なお、アンケート調査項目を検討するサブワーキンググループを設置し、2 回の会合を経て、調査結果を報告書としてまとめ Web に公表しました。

〔報告書〕

「SaaS/クラウドコンピューティング事業の取組に関する調査報告書」

◇報告書公開 URL：http://www.csaj.jp/info/13/130410_cloud.html

〔技術者交流のためのツアー企画〕

○平成 24 年 11 月 15 日（木）～16 日（金）（参加：16 名）

「『Ruby を学ぶ』島根訪問ツアー」

技術者対象のツアーとして、島根県松江市で開催。1 日目は企業団地ソフトビジネスパーク島根の中核施設「テクノアークしまね」にて、クラウド×Ruby をテーマにセミナーを 3 セッション実施。地域交流を目的とし、島根情報産業協会、島根ソフト産業ビジネス研究会、公益財団法人しまね産業振興財団からの参加者 14 名と合わせて総勢 30 名の交流となりました。2 日目は、IIJ 社の松江データセンターパーク見学や、島根県の IT 産業誘致への取組状況の講演を聴講し、終了いたしました。

※実施報告掲載：http://www.csaj.jp/info/12/121115_rubyrepo.html

〔セミナーの開催（3 回）〕

クラウド関連最新技術セミナー

○平成 24 年 9 月 28 日（金）於：トスラブ大久保「桜華楼」会議室（参加：20 名）

「エンタープライズ・クラウドの新潮流 丸山不二夫先生特別講演、パネル討論会」

○平成 25 年 1 月 30 日（水）於：CSAJ 会議室（参加：22 名）

「事例に学ぶ Big Data の活用法」

○平成 25 年 3 月 7 日（木）於：CSAJ 会議室（参加：23 名）

「Cloud プラットフォーム技術最新動向～SDN（Software Defined Network）、Cloud Stack、Cloud Federation Tool を学ぶ～」

2) モバイル技術ワーキンググループ<登録：17 社 19 名>

主査：田中 啓一（日本事務器㈱ 代表取締役社長）

平成 24 年度は、8 回のワーキングを開催し、スマートフォン、タブレットを対象としたクロスプラットフォームのアプリケーション開発技術について最新動向について調査研究を行うため、カンファレンス及び勉強会を企画し、報告をまとめるとともに、メンバー企業におけるスマー

トフォン、タブレットを採用したシステム開発への取組について調査検討を行いました。
〔カンファレンスの企画・開催〕

「CEATEC JAPAN 2012」においてスマートフォンやタブレット PC 等のモバイルアプリケーション向け開発技術動向調査をテーマに企画カンファレンスを実施。ワーキングメンバーによる、補足説明がなされた講演資料及び当日聴講者へのアンケート集計データを会員限定で公開。

○CEATEC JAPAN 2012 Software Solution トラック

2012年10月3日(水) 「モバイルアプリケーション開発技術最新動向」

- ・SS-05 「HTML5 最新動向」 (参加: 146名)
- ・SS-06 「jQuery Mobile で作るモバイルアプリケーション」 (参加: 89名)
- ・SS-07 「みんなのためのモバイル向け開発環境"Titanium Mobile"」 (参加: 63名)
- ・SS-08 「Sencha Touch と Sencha Architect で作るモバイル Web アプリケーション」 (参加: 47名)

※ 「モバイルアプリケーション開発技術最新動向」 報告公開 (会員限定)

http://www.csaj.jp/info/12/121003_mobilerepo.html

〔勉強会の企画・開催〕

アプリケーションベンダが知る必要のあるモバイルアプリケーション開発環境に関する最新技術動向を勉強会形式で実施。

- 平成24年6月28日(木) BaaS 勉強会
- 平成24年7月25日(水) Google I/O 2012 参加者報告会
- 平成24年11月21日(水) PhoneGAP 勉強会
- 平成24年12月20日(木) Adobe Edge 勉強会
- 平成25年2月28日(木) Enterprize BaaS 勉強会

3) セキュリティワーキンググループ<登録: 15社19名>

主査: 小屋 晋吾 (トレンドマイクロ株 執行役員 統合政策担当)

平成24年度は、BYOD (Bring Your Own Device) を企業で導入し有効活用するための施策を検討・研究するために、平成25年2月にWGを立ち上げ、2回のWGを開催し、以下の活動を行いました。

- 1) BYOD 活用事例の調査研究・情報交換
- 2) BYOD に関するセミナーの企画
 - ・従業員の所有するスマートフォンやタブレット等の私物モバイルを、企業システムのデバイスとして活用する取組について学ぶためのセミナーとして、「企業における私的モバイル活用法〜かしこく使おう BYOD〜」を企画・実施 (平成25年1月17日(木)、参加33社37名)
- 3) BYOD を企業で導入する際の具体的な取扱規程等のサンプル項目の検討

7. パッケージソフトウェア品質基準委員会<登録: 13社14名>

委員長: 藤井 洋一 (日本ナレッジ株 代表取締役)

副委員長: 望月 信昭 (株豆蔵 ES事業部 シニアコンサルタント)

日本発のパッケージソフトウェアを対象とした品質認証制度を構築するために、ISO/IEC25051を基に具体的な審査基準の策定を行い、認証制度の開始に必要な様々なフローを策定すべく8回の委員会を開催し議論が行われました。具体的な活動は以下の通り。

- 1) JISX25051 (ISO/IEC25051) に基づいた審査基準を分かり易く解説するための「申請者ガイドブック β 版」の公開。
- 2) 申請者ガイドブック β 版を正式版に更新するための改定作業への着手。
- 3) IPA-SEC がソフトウェア産業全体を対象に個別の品質認証制度のあり方を示した「ソフトウェア品質説明のための制度ガイドライン」の適用第一号案件となるための協力
- 4) ISO/IEC 国際会議へ参加し、ISO/IEC25000 (SQuaRE) シリーズの改定作業へ協力

〔ワーキングの開催〕

○制度設計ワーキング (2回開催)

認証制度の全体スキーム及び具体的な各制度フローの策定

○ガイドブック改定執筆者ワーキング (4回開催)

申請者ガイドブック β 版の審査基準関連記述箇所の構成内容レビュー/修正。

○用語・表記見直しワーキング (3回開催)

申請者ガイドブック β 版の用語・単語表記の統一化、平易化を行うためのレビュー/修正。

[IPA-SEC への協力]

○IPA-SEC がソフトウェア産業全体を対象にした個別の品質認証制度のあり方を示した「ソフトウェア品質説明のための制度ガイドライン」へ協力

◇平成 24 年 3 月 23 日に採択された IPA 公募案件の実施

- ・公募案件名：「ソフトウェア品質監査制度（仮称）構築に向けての参考データ収集のための模擬実験に関わる請負先（参加者）の公募」
- ・提案名：「パッケージソフトウェア品質認証制度のフィージビリティ評価及び監査制度導入によるコスト評価」
- ・報告書提出：5 月 31 日（木）
- ・検収／完了：6 月 14 日（木）

◇ソフトウェア品質監査制度検討部会への協力

- ・部会および実証実験ワーキンググループへの委員派遣（藤井委員長）
- ・実証実験プロジェクトチームの主査を藤井委員長が務め、その他数名の委員および研究員を派遣し、PSQ 認証制度の審査基準の策定・模擬認証実験などを共同で実施。

[カンファレンスの企画開催]

○CEATEC JAPAN 2012

平成 24 年 10 月 5 日（金）「CSAJ 企画～ソフトウェア業界トレンドセッション～」

- ・SS-15「ソフトウェアの品質説明力強化に向けた政府の取り組みと産業界の動向」（参加：104 名）
- ・SS-16「パッケージソフトウェア品質認証の必要性について」（参加：85 名）

開催報告 URL http://www.csaj.jp/info/12/121005_ceatecrepo.html

[ISO/IEC 国際会議への委員派遣]

ソフトウェア品質に関する規格を検討する国際会議 JTC1/SC7/WG6 へ委員を派遣し、韓国 済州島（5/21～5/25）、アルゼンチン ブエノスアイレス（11/21～11/25）での会議では、派遣委員が Co Editor として、ISO/IEC25000 シリーズ及び ISO/IEC25051 の次期バージョンの改定作業に協力。

8. クラウドビジネス研究会<登録：17 社 19 名>

主査：松田 利夫（㈱きっとエーエスピー 代表取締役社長）

平成 24 年 7 月～10 月まで 3 回の準備会を重ね、11 月より本格的に研究会をスタートしました。目的は日本のクラウドビジネスにおいてエコシステムの必要性和構築を題材にセミナーや調査研究を行いました。

○平成 24 年 11 月 1 日（火）（第 1 回）

- ・日本のプロフィットモデルパターン作成とメリット、デメリットの明確化
- ・利用者側、提供者側のクラウドについて見識（知識）調査の実施
- ・日本と海外の違いについてセミナー実施 -日本と海外の違いについて

○平成 24 年 12 月 4 日（木）（第 2 回）

- ・海外クラウドビジネス事例セミナー
講演テーマ「CARRIER GRADE CLOUD」～A NEW PARADIGM FOR SUCCESS～
講師 アルカテル・ルーセント社 副社長 Vasile Radoaca 氏
- ・日本におけるプロフィットモデルについて議論

○平成 25 年 2 月 21 日（木）（第 3 回）

- ・「CompTIA 人材育成サミット」の結果報告
- ・スキルギャップ調査（速報値）報告
- ・日本のプロフィットモデルを割り出すための議論

<クラウドコンピューティング（クラウドサービス）のビジネスへの導入/提供におけるスキルギャップ調査>の実施

【調査期間】平成24年12月5日（水）～平成25年1月31日（木）

【調査の件数】 回答数：139件

セッション数（30分間に何度もページを訪れても1カウント）：732

ページビュー：860

コンバージョン率：16.16%

※コンバージョン率 = コンバージョン / ページビューでした。

【総評】 今回の調査は、クラウドビジネス推進に向けての問題をあぶりだすため、個々人の経験ではなく、スキルの観点から事実を見える形にするのが、目的であったが、回答数

139と目的は達した。

全体的に30%以下を見ると利用する側（ユーザー）の多くが満たないものも多く、回答の後半にはすべての職種において、ほとんどが30%以下となっている。

全体を通して言えることは、利用する側（ユーザー）はクラウドコンピューティングにおける体系的な知識スキルがないと言える。

9. アライアンスビジネス委員会<登録：11社12名>

委員長：田中 聡（㈱ミクロス ソフトウェア 代表取締役社長）

平成24年度は、3回の委員会を開催し、IT企業間のビジネスアライアンス活性化のための施策等を検討するとともに、提携拡大のための支援活動を行いました。具体的な活動は、以下の通り。

- 1) アライアンスビジネス交流会を主催し、主にベンチャー企業や中小企業を対象に、ソフトウェアプロダクトや関連サービスなどのプレゼンテーションの場を提供。参加企業相互のビジネスマッチングや今後のビジネス交流を深めるための会合を定期開催。
- 2) 交流会において、他団体や行政との合同開催、協力開催を企画・実施し、他団体会員や各地域企業とのビジネス交流を促進。
- 3) ビジネスに結びつくタイムリーなテーマでセミナーを企画し、交流会に併催。
- 4) 第9回CSAJアライアンス大賞候補企業の選考・選出。

[交流会開催8回、延べ参加企業296社、延べ聴講者393名、特別講演開催3回]

開催日	プレゼンテーション実施企業(32社)	参加
平成24年 04月18日(水)	株式会社インターコア、株式会社テレマークス、株式会社アール・アイ、アテイン株式会社	35社48名
平成24年 05月16日(水)	ワークブレイン・ジャパン株式会社、株式会社システムエグゼ、株式会社パラドクス、マジックソフトウェア・ジャパン株式会社	27社40名
平成24年 06月21日(木)	ニューロネット株式会社、株式会社ダイナックス、イーハートブ株式会社、フォーディーネットワークス株式会社 特別講演：経済産業省の情報施策と中小企業支援策について	46社58名
平成24年 07月18日(水)	株式会社システム工房エム、株式会社バース情報科学研究所、株式会社MCセキュリティ、株式会社アトミテック 特別講演：「Rubyの現状と今後」－現状の支援体制と利用実績から未来を占う－	35社50名
平成24年 09月19日(水)	ネットレコーダー・ソリューションズ株式会社、クリエーションライン株式会社、株式会社システムラボ、ITX株式会社	34社41名
平成24年 10月17日(水)	株式会社ヒューネス、株式会社カイエンシステム開発、株式会社サンクレエ、株式会社アスペックス	30社35名
平成24年 11月28日(水)	株式会社パートナー、アイビーシー株式会社、日本ディスク株式会社、株式会社デジタルコミュニケーションズ 特別講演：「間違いだらけのソフトウェア・マーケティング」 －パッケージビジネスでの戦略的マーケティングとは？－	54社72名
平成25年 02月22日(水)	ビジネスメンター株式会社、エボックサイエンス株式会社、株式会社メディアシーク、株式会社イーアールアイ	35社49名

※平成24年度アライアンスビジネス委員会活動報告書

⇒http://www.csaj.jp/info/13/130411_ab.html

10. 会員企業経営支援委員会<登録：11社12名>

委員長：荻原 紀男（㈱豆蔵ホールディングス 代表取締役社長）

平成24年度は、3回の委員会を開催し、以下の活動を行いました。

- 1) 平成25年度税制改正に関する要望とりまとめ・提出
 - ・平成24年7月10日(火)、経済産業省へ「平成25年度税制改正に関する要望」を提出
 - 要望項目：(1)業種別税率の設定、(2)連結納税制度の改正、(3)地方税の包括的見直し、(4)IT人材投資促進税制の創設、(5)中小企業投資促進税制の拡充、(6)研究開発促進税制の拡充、(7)減価償却制度の見直し、(8)ソフトウェアを含む工事損失引当金の税務上認容、(9)役員給与損金不算入制度の見直し、(10)税制改正に伴う基本通達の改正の早期化、(11)法人IDの推進
- 2) 税制改正要望に関する経済産業省からのヒアリングへの対応
- 3) 会員企業経営支援の仕組みの一つとして、金融・税務・会計・上場・法務・労務・公共案件・経営全般の相談を受付、委員から経営者視点でのアドバイスや適切な土業の方の紹介

- などを行う「会員企業悩み相談窓口」を開設
- 4) 経営層、経営戦略部門、管理部門（総務・経理・人事）向け講座の企画・実施
- ・ソフトウェア企業特有の経営管理等の肝を1日で学べる集中講座として、「ソフトウェア企業経営のツボ講座」を企画・実施（平成24年10月26日（金）、参加16社18名）

11. CAD 利用普及委員会<登録：4社4名>

委員長：山田 正彦（㈱ワコム 代表取締役社長）

平成24年度は、3回の委員会を開催し、CAD利用技術者試験等に関する以下の事項について検討するとともに今後の試験制度および実施計画に関する議論を行いました。

〔主な検討事項〕

- ・平成23年度 CAD利用技術者試験 最終結果報告
- ・平成24年度 CAD利用技術者試験 申込状況報告・実施結果報告
- ・CAD利用技術者試験2級のCBT化について
- ・海外展開について
- ・公式Webページの刷新（バナー広告掲載）について

12. 会計ソフト普及委員会<登録：9社12名>

委員長：多田 敏男（TAC㈱ 取締役副社長）

委員長代理：干潟 康夫（TAC㈱ 教育第三事業部 副事業部長）

平成24年度は、2回の委員会を開催し、会計ソフト実務能力試験等に関する以下の事項について検討を行いました。また、公益社団法人全国経理教育協会（全経）との協業に関する検討を継続しています。

〔主な検討事項〕

- ・平成23年度会計ソフト実務能力試験 最終結果報告
- ・平成24年度会計ソフト実務能力試験 申込状況報告・実施結果報告
- ・全経との協業について検討
- ・平成25年度からの試験制度変更（2級試験の廃止）について

13. プライバシーマーク審査判定委員会<非公開>

委員長：苗村 憲司（情報セキュリティ大学院大学 特別研究員／慶応義塾大学 名誉教授）

個人情報保護に関する学識経験者等を委員委嘱し（委員長以外の委員の氏名・人数、及び開催日程などは非公開）、第三者委員会として計12回を開催し、付与適格決定57社（更新53社、新規4社）、個人情報事故措置17社23件を決定しました。

14. アライアンス大賞評価委員会<登録：6社6名>

委員長：山名 早人（早稲田大学理工学術院情報理工学科教授）

平成23年1月～12月の1年間にアライアンスビジネス委員会が主催したアライアンスビジネス交流会において、プレゼンテーションを実施した企業32社を対象に、アライアンス実績と将来性を評価し授与する「CSAJアライアンス大賞」の最終審査（第二次審査）を行い、受賞企業を決定し、平成24年6月13日のCSAJ定時総会後に受賞企業の発表及び表彰式が行われました。

○第9回CSAJアライアンス大賞 各賞および受賞企業・製品

- ・優秀賞：株式会社ビットリンク
「Choice RESERVE」多業種対応クラウド型予約管理システム
- ・奨励賞：インヴェンティット株式会社
「Mobi Connect」スマートフォン遠隔セキュリティサービス
- ・特別賞：株式会社ハイパーテック
「CrackProof for Android」クラッキングを防止する耐タンパセキュリティソフト

※CSAJアライアンス大賞ニュースリリース掲載URL

http://www.csaj.jp/release/12/120613_csajrelease3.pdf

IV. 業界関連および会員支援活動等

1. 情報システム取引者育成プログラムの実施

CSAJ と一般社団法人日本コンピュータシステム販売店協会（JCSSA）で組織する「情報システム取引者育成協議会」が運営している「情報システム取引者育成プログラム」において、平成 24 年度は以下の通りプログラムを実施しました。

目的：経済産業省モデル契約をもとに、情報システム取引で生じるリスクやトラブルを防ぎ
公正な契約に必要な法務、契約実務の知識を有する者を育成し、信頼性の高い情報システムの構築に寄与する

基礎講座：契約に関する基礎知識の習得、トラブル要因とベンダ・ユーザの責任の理解

研修講座：IT 取引における留意点の把握、トラブル回避と必要な契約条項のポイント把握

修了テスト：情報システム取引に係る理解度の確認（合格者には修了証を発行）

講座名	講座形態／実施回数	平成 24 年度 受講数	平成 22 年開始時 からの受講者累計
基礎講座	定例講座 5 回実施	40 名	1,554 名
	出張講座 3 回実施	131 名	
	小計	171 名	
研修講座 (修了テスト受験者含む)	定例講座 4 回実施	65 名	540 名
	小計	65 名	
総合計 (基礎講座＋研修講座)	—	236 名	2,094 名

2. CEATEC JAPAN 2012（10 月 2 日～6 日開催）

13 回目となる CEATEC JAPAN 2012 は、「Smart Innovation － 豊かな暮らしと社会の創造」をテーマとし、“スマート化”の流れのもとに IT・エレクトロニクス産業との更なる連携が期待される重点分野として、モビリティ、エネルギー、ヘルスケアの 3 分野で開催されました。

開催規模は、624 社／団体（うち海外：19 カ国／地域から 161 社／団体）、2,288 小間となり、会期中の登録来場者総数は、5 日間合計で 162,219 名となり、開催前日の 10 月 1 日（月）に開催した記者会見には、103 名の報道関係者が出席、会場を直接取材したマスコミ関係者は総勢 1,867 名で CEATEC JAPAN に関する情報が国内のみならず、世界的にもテレビ、新聞、雑誌、Website 等に多数採り上げられました。

また、CSAJ 和田成史会長による「新ソフトウェア産業ビジョン～スマートイノベーション時代、日本企業の進むべき道は？」と題した開催初日の基調講演には、約 300 人の聴講、CSAJ 企画カンファレンス（10 月 3 日・5 日／8 セッション）には、述べ約 750 人が聴講されました。

CEATEC レポート http://www.csaj.jp/info/12/121006_ceatecrepo.html

CEATEC 公式サイト <http://www.ceatec.com/2012/ja/application/index.html>

3. ビジネスサポートカンファレンス

○CSAJ の活動を知ろう・利用しよう ～平成 23 年度委員会成果報告及び平成 24 年度活動計画～

開催日時：平成 24 年 4 月 11 日（水）13:30～17:30 会場：CSAJ 会議室 参加：29 社 34 名

○これだけは知っておきたい特許・商標の基礎知識～意識付けから始まる知財戦略～

開催日時：平成 24 年 9 月 13 日（木）13:30～17:30 会場：CSAJ 会議室 参加：24 社 27 名

終了報告掲載 URL：http://www.csaj.jp/info/12/120913_patent.html

○会員コミュニケーション広場

平成 24 年度の新たな企画として、会員企業の社員同士が交流できる場を拡大してはどうかとの提案を受け、業務終了後に気さくに立ち寄れるようにと、開始時間を夕方設定した「会員コミュニケーション広場」を以下の通り開催しました。

・第一弾企画「台湾茶を親しむ」

開催日時：平成 25 年 2 月 7 日（木）17:30～19:30 会場：CSAJ 会議室 参加：15 社/19 名

・第二弾企画「漢字中国語セミナー」

開催日時：平成 25 年 3 月 7 日（木）17:30～19:30 会場：CSAJ 会議室 参加：9 社/14 名

4. CSAJ 経営者サマーセミナー in 北海道 札幌・小樽

平成 24 年 7 月 12 日 (木)～13 日(金)の 2 日間、CSAJ 会員の経営者層を対象とした「経営者サマーセミナー in 北海道 札幌/小樽」が、北海道札幌市・小樽市で開催されました。今年は、賛助会員の一般社団法人北海道 IT 推進協会 (HICTA) 様および HICTA 交流委員会、CSAJ アライアンスビジネス委員会の協力を得ての開催となり、CSAJ 会員からは、和田会長をはじめ 34 社/38 名、北海道側からは、菅野会長をはじめとした 25 社/31 名の総勢 69 名の参加があり大変盛況でした。
◇終了報告掲載 URL : http://www.csaj.jp/info/12/120712_sappororepo.html

5. 関係省庁・関連団体などとの協力活動

経済産業省をはじめとする関係省庁・関係団体等からの各種情報等を会員企業へ周知を行うとともに以下の活動を行いました。また、必要に応じて、外部委員会等への委員を派遣しました。

○IPA と CSAJ 幹部による意見交換会が以下の通り開催され、IPA からは藤江理事長他 10 名、CSAJ からは和田会長他 10 名が参加し、合計 22 名で活発な意見交換が行われました。

日時：平成 24 年 11 月 27 日 (火) 12:00～14:00

場所：アルカディア市ヶ谷

IPA からの議題：IPA/各センターの活動紹介

(人材、国際標準、セキュリティ、ソフトウェアエンジニアリング等)

CSAJ からの議題：人材育成、ソフトウェア品質認証制度、CSAJ の将来について

○IPA のソフトウェア・エンジニアリング・センターをはじめ、セキュリティセンター、IT スキル標準センター等における各種公益活動に対してソフトウェア業界団体として参加及び普及啓発への協力などを行いました。また、参加・協力した主な委員会等は以下の通り。

- ・ IT パスポート試験普及協議会 情報技術者試験審議委員
- ・ IT 人材白書検討委員会
- ・ 共通キャリア・スキルフレームワーク検討委員会
- ・ 産学連携推進センター・産学マッチング企画部会
- ・ 情報セキュリティ検討会
- ・ 情報システム等の脆弱性情報の取り扱いに関する研究会
- ・ ソフトウェア品質監査制度部会

○CSAJ が後援する全国高等専門学校第 23 回プログラミングコンテストは、下記の日程で開催されました。CSAJ 事務局からは、前川徹専務理事が参加しました。

主催：全国高等専門学校第 23 回プログラミングコンテスト委員会

会期：平成 24 年 10 月 13 日(土)、14 日(日)

会場：大牟田文化会館 (福岡県大牟田市)

○上記の他、関連団体の主催行事等の後援・協賛するとともに会員企業への紹介などを行いました。

6. 各種 Web 等による情報提供

1) 会員企業保有技術検索サービス

<http://www.csaj.jp/tmap/>

2) パッケージソフトウェア検索サイト「Find-IT」

<http://www.csaj.jp/activity/findit/>

3) ASP/SaaS 情報ポータルサイト「ASP/SaaS 実力診断ガイド」

<http://www.csaj.jp/activity/aspsaas/>

4) 研修ポータルサイト

http://www.csaj.jp/info/10/100301_traning.html

5) CSAJ Web、E-mail 配信等による各種情報提供

セミナー情報 <http://www.csaj.jp/seminar/>

官公庁団体情報 <http://www.csaj.jp/government/>

コラム <http://www.csaj.jp/column/>

CSAJ NEWS <http://www.csaj.jp/member/news/index.html> (会員限定)

6) CSAJ めるまが配信 <http://www.csaj.jp/mailmaga/>

7) 海外 (米国) からの各種情報の定期配信

8) 会員サービスの充実 (動画配信・製品情報配信等)

会員データベース刷新によるメール配信先の増加および「会員からのお知らせ」掲載申請

機能の改善

会員からのお知らせ <http://www.csaj.jp/memberinfo/>

動画配信サービス <http://www.csaj.jp/member/video/> (会員限定)

アライアンスビジネス交流会ストーリーミング配信 <http://www.161c.jp/csaj/>

7. 協会広報活動等

○広告掲載等による協会 PR 活動

週刊 BUSINESS COMPUTER NEWS (BCN)、電波新聞への広告掲載により IT 企業への協会活動周知と入会勧誘を行いました。

○協会 PR 活動のための取材等に対応

・日本情報産業新聞 (平成 25 年 1 月 1 日号) 年頭所感 和田成史会長

・ヤノレポート (平成 25 年 1 月 10 日号) 年頭所感 和田成史会長

○CSAJ プロフィールの刷新と会員証の配布

新規会員候補企業等に CSAJ プロフィールを配布するとともに、新規入会企業には会員証を配布しました。

8. 協会運營業務等

○正会員企業の業態・ニーズ調査の実施

平成 25 年 1 月～2 月に調査を行い、正会員 344 社中、219 社より回答を得ることができました (回収率 63.4%)。

○各種規程等の見直し

以下の事務局内規程等の見直しを行うとともに、新たに必要な規程については、新設しました。

- | | | |
|----------|-------------|------------|
| ・旅費規程 | ・経理規程 | ・給与規程 |
| ・退職金規程 | ・稟議規程 | ・育児・介護休業規程 |
| ・慶弔見舞金規程 | ・諸謝金等規程(新設) | |
| ・文書規程 | ・就業規則 | |

○一般社団法人コンピュータ教育振興協会 (ACSP) の経理業務およびシステム管理等の業務の一部受託を継続して行いました。

○事務局の移転

CSAJ 事務局は、日本自転車会館 (所在地：港区赤坂 1-9-15) を含む地域の再開発に伴い、平成 24 年 10 月に以下の所在地に移転しました。

新所在地：〒107-0052 東京都港区赤坂 1-3-6

赤坂グレースビル (3F:会議室、4F:受付・執務室)

V. 認定試験事業

一般社団法人コンピュータ教育振興協会(ACSP)と共催している「CAD 利用技術者試験」および「会計ソフト実務能力試験」の応募者数は、昨今の少子化や景気低迷の影響を受け年々減少しており、また、平成 24 年度は前年比で概ね CAD 利用技術者試験は 8~9 割、会計ソフト実務能力試験は 7 割程度の結果となりました。

1. CAD 利用技術者試験 試験日：6 月 24 日/11 月 11 日（2 級 WBT は随時実施）

1 級（筆記+実技）	応募者	受験者	合格者	合格率	H23 年度応募者
1 級（建築）	493 名	438 名	176 名	40.2%	565 名
1 級（機械）	1,087 名	1,020 名	328 名	32.2%	1,176 名
1 級（トレス）	267 名	244 名	117 名	48.0%	359 名
平成 24 年度合計	1,847 名	1,702 名	621 名	36.5%	2,100 名

※年間目標：1,780 名 達成率：103.8% 前年比：88.0%

2 級（筆記）	応募者	受験者	合格者	合格率	H23 年度応募者
一斉試験	5,391 名	4,842 名	2,360 名	48.7%	6,721 名
WBT（4月~3月）	1,603 名	1,573 名	898 名	57.0%	1,646 名
平成 24 年度合計	6,994 名	6,415 名	3,258 名	50.8%	8,367 名

※年間目標：7,000 名 達成率：99.9% 前年比：83.6%

2. 3 次元 CAD 利用技術者試験 試験日：7 月 15 日/12 月 9 日

1 級（実技）	応募者	受験者	合格者	合格率	H23 年度応募者
平成 24 年度合計	772 名	720 名	270 名	37.5%	935 名

※年間目標：850 名 達成率：90.8% 前年比：82.6%

準 1 級（実技）	応募者	受験者	合格者	合格率	H23 年度応募者
平成 24 年度合計	765 名	713 名	305 名	42.8%	880 名

※年間目標：850 名 達成率：90.0% 前年比：86.9%

2 級（筆記）	応募者	受験者	合格者	合格率	H23 年度応募者
平成 24 年度合計	2,316 名	2,204 名	1,374 名	62.3%	2,641 名

※年間目標：2,500 名 達成率：92.6% 前年比：87.7%

3. CAD 利用技術者試験基礎試験 試験日：随時実施

	応募者	受験者	合格者	合格率	H23 年度応募者
H24 年度（4月~3月）	815 名	739 名	498 名	67.3%	820 名

※年間目標：600 名 達成率：135.8% 前年比：99.4%

4. 会計ソフト実務能力試験 申込状況 試験日：9 月 23 日/2 月 17 日

1 級（実技）	応募者	受験者	合格者	合格率	H23 年度応募者
一斉試験	355 名	322 名	179 名	55.6%	457 名
特別回	147 名	147 名	108 名	73.4%	68 名
平成 24 年度合計	502 名	469 名	287 名	61.2%	525 名

※年間目標：400 名 達成率：125.5% 前年比：95.6%

2 級（筆記）	応募者	受験者	合格者	合格率	H23 年度応募者
一斉試験	433 名	405 名	325 名	80.2%	765 名
特別回	201 名	201 名	163 名	81.1%	250 名
平成 24 年度合計	634 名	606 名	488 名	80.5%	1,015 名

※年間目標：850 名 達成率：74.5% 前年比：62.5%

※なお、今後の受験者拡大を目的に、CAD 利用技術者試験および会計ソフト実務能力試験の合格者データの精査を行い、ACSP が今後独自に構築する「職業紹介サイト(仮称)」（平成 25 年 10 月開設予定）に試験の合格者を誘導し、仕事紹介をスタートすべく準備を始めました。

VI. プライバシーマーク審査事業

一般財団法人日本情報経済社会推進協会（JIPDEC）より審査・指定を受けて、プライバシーマーク指定審査機関として 6 年度目の平成 24 年度は、プライバシーマーク審査事業等を以下の通り実施致しました。

1. CSAJ における審査実績

	更新審査	新規審査	合計	目標達成率	入会数	退会・更新辞退 審査機関変更
目標	49 社	11 社	60 社	95.0%	4 社	4 社
実績	51 社	6 社	57 社			

※平成 24 年度は、更新申請の該当件数が少ない、いわゆる“裏の年”であったが、更新審査については、目標値を若干上回った。しかしながら、新規審査については、他審査機関との競争が更に激化し、CSAJ への入会（年会費の負担）がネックとなり、伸び悩んだ。

※上記の実績は、当該年度中に現地審査までを実施した時点のもの。

2. JIPDEC からの受託審査実績

受託審査数：29 社

審査報酬：約 320 万円

3. 広報活動・営業活動・その他

- * 「個人情報保護基本規程」「個人情報保護安全対策管理規程」の雛型の提供（Web 掲載）
- * 「個人情報管理台帳」「リスク分析表」などの参考資料の提供
- * 個別相談会の実施（随時、無料） 約 20 社
- * コンサルティング事業者の紹介（CSAJ 会員のコンサルティング事業者を Web に掲載）
- * コンサルティング事業者との連携
- * 個別訪問営業 約 50 社
- * CSAJ 審査対象外の業界の事業者コンサルティング 1 社